

～畜産安心ブランド生産農場だより～

長岡市根小屋：

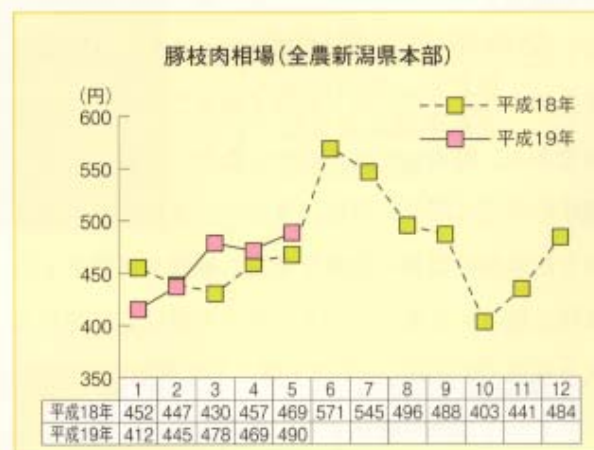
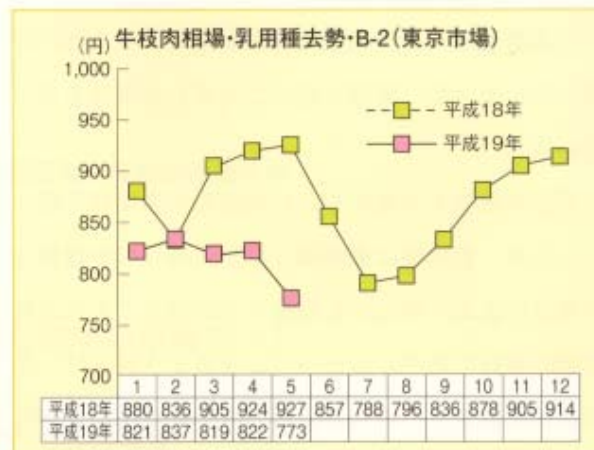
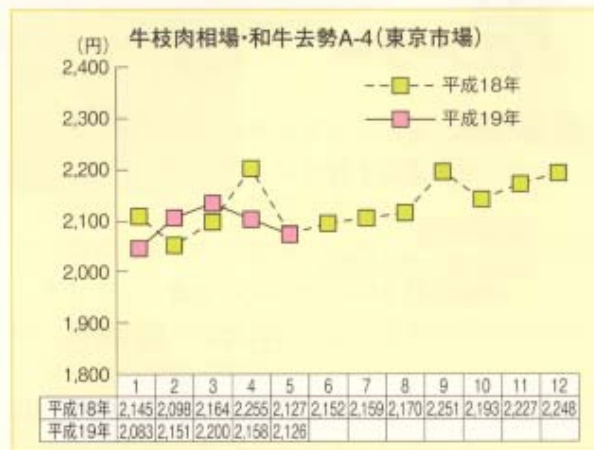
(有)ケーエスファーム加勢牧場 加勢 勉 氏

最近の酪農情勢は、牛乳の消費低迷や穀物のエタノール化による飼料高騰が著しく、我々酪農家にとって、かつて経験したことのないほどの厳しい状況です。このような状況の中、どうしたら消費者の心をつかみ、牛乳の消費拡大に繋げるかを考えると、まず第一に安心して消費してもらうことが大事と思います。そこで、昨年度からスタートしたクリーンミルク生産農場認定事業に取り組み、県内第一号として認定されました。また、飼養頭数が少なく希少なガンジー牛を飼養し、ガンジー牛乳によるアイスクリーム、プリン、ソフトクリーム、クリームチーズなどの加工品や、現在検討中のミルクジャムなど話題性のある生産物の販売を行っています。そして、実際に消費者に牧場に来訪してもらい、牛とのふれあいを通して商品の安全性を理解してもらうとともに、多くの消費者にもっと牛乳に関心を持ってもらえたらと思っています。

今後とも、消費者に対しアピールできる商品を責任をもって生産し、安全・安心な牛乳生産に取り組み、消費拡大に繋がることを期待しています。



畜産物市況



編集後記

畜産関連の生産資材の値上がりが著しい。畜産経営に大きく影響する配合飼料価格、ガソリン・軽油等の燃料代高騰は経営を直撃している。これのもとをたどれば、世界中でのバイオ燃料の増産が始まったことによる。石油価格の急騰や化石燃料依存への懸念がこのような事態を招いている。バイオエネルギー生産の原料はトウモロコシ等の穀類、サトウキビが主なものであるが、我々の食料や家畜飼料と競合している。学生時代の生化学の授業で「エタノール」を作った。穀物を醗酵させれば酒ができる。これを蒸留すれば濃度の高いアルコールが得られるのである。社会人になって「酒」を飲み目を廻しているが、地球環境にやさしいアルコールが畜産農家の目を廻す原因となろうとは歴史の皮肉を感じるのは私だけであろうか。

(花田 記)